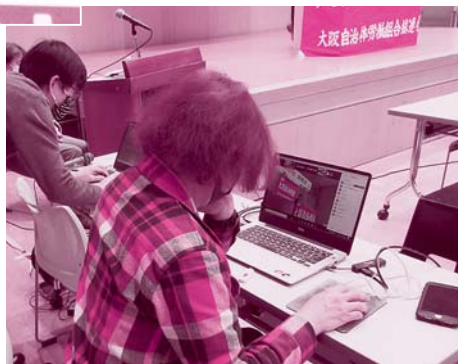


力をあわせ コロナ危機を乗り越えよう



▲各単組から全体で72人が参加しました

今年の旗開きはこれまでとは違い、中山徹さん（奈良女子大学教授）による情勢学習会と、2021春闘方針案の提案を行いました。



リモートでの参加者にも配信▶

2021年は、新型コロナ感染拡大が続き厳しい年明けとなりました。なによ

りも「いのち」を守ること、そして守られる社会でなくてはなりません。

私たちは自治体に働くすべての人々の安全を願います。そして、すべての

住民のいのちと暮らしを守るために力をあわせ、コロナ危機を乗り越えよう

ではありませんか。（2面に有田委員長の新春あいさつを掲載）



公衆衛生部会
部会長
山口 浩さん
(堺市職労)

公衆衛生部会

府民のいのちと暮らしを
守り切るために奮闘する

昨年2月に新型コロナウイルスが指定感染症に指定されて以来、すでに1年近く保健所関連の職場では長時間・過密労働が続いており、マスクなど「保健所業務のひっ迫」が何度も取り上げられています。全国の仲間の奮闘で、令和3年度の地方財政対策に「2年間で約900人の保健師の増員」が盛り込まれました。しかし、全く足りないと言わざるを得ません。府民のいのちと暮らしを守り切るために、公衆衛生職場の体制強化のために、この1年奮闘します。



保育部会
部会長
山 千鶴さん
(岸和田市職労)

保育部会

みんなの叡智で
乗り越える一年に

昨年はコロナ禍の中、今まで当たり前でできていた散歩やあそびも、安全を守るために今まで通りにはいかなくなりました。運動会など人の集まる行事は「密」を避けながらどう進めるか等、これまでの考え方を白紙にしながら考えなければいけない一年でした。コロナ禍であきらめてばかりでは前へと進みません。どうすればできるのかというところに目を向ける一年にしていきたいと思えます。みなさんの叡智を結集しながら乗り越えていきましょう。

「牛の歩みも千里」——力をあわせて日々、前進



書記部会
部会長
辻 誠さん
(門真市職労)

書記部会

「一人ぼっちの書記を
なくそう！」が合言葉

昨年は、コロナ禍の中ではありましたが、できる限りの感染防止対策を取り、部会として活動をして、自治労連運動前進のため取り組みに参加してきました。今年は、団結の力を動力に、「一人ぼっちの書記をなくそう！」を合言葉に、書記として働き活動をしていくすべての人を組織する基礎を固め、「書記（局）政策（案）」と「書記局の運営と実務の手引き」を両輪に、自治労連運動の強化・前進に「猪突猛（モウ）進」していきたいと思えます。ともにがんばりましょう。



税務部会
部会長
原田 達也さん
(吹田市職労)

税務部会

自治体における税務業務
は大きな分岐点に

菅新政権の目玉として、自治体と民間の情報の共有化を推進するため、デジタル庁を立ち上げました。官民間わずリモートによる業務が推進されましたが、利便性を押し出す反面、情報漏洩の事件事故が起きています。税務データは住民の個人情報です。また、税制改正による制度の歪み、消費税率の引上げ・廃止、受益者負担から応能負担の税本来の姿、社会保障等の給付基準となる税制度の改悪を許さない運動を進めます。